

令和6年3月15日

酪農畜産及び営農担当部署
担当者各位

一般社団法人 北海道酪農畜産協会
経営支援部

令和6年度畜産経営指導支援事業（本協会独自事業）に係る需要調査について

本協会の事業推進につきまして、日頃よりご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、近年、畜産経営を取り巻く情勢が非常に不安定かつ不透明な中、北海道の重要な基幹産業である畜産を持続的に維持発展させていくためには、農家個々の経営努力はもとより関係機関が一体となった畜産経営の生産基盤強化及び収益性の高い経営体の育成が求められております。

本協会では、経営診断業務をより広く効率的に全道で展開し、北海道の畜産経営の体質強化に資するため、標題事業を実施いたします。

つきましては、令和6年度の需要調査を行ないますので、別紙の需要調査に係る留意点等をご確認のうえ、申込書を期日までにご提出いただきますようお願いいたします。

お忙しいことと存じますが、ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

記

1 実施メニュー

- ・各メニューの概要については、別紙「畜産経営指導支援 各メニューの概要」をご参照ください。
- ・詳細な内容、要件等については、「畜産経営指導支援事業実施要領」（令和5年3月14日制定）を確認ください。

*要領は本協会のホームページ（<http://rakutiku.or.jp/>）に掲載されています。

2 料金

- | | |
|--------------|---|
| (1) 簡易分析 | 無料 |
| (2) 総合診断 | 【農協申込の場合】 1戸あたり 55,000円
【個人申込の場合】 1戸あたり 110,000円 |
| (3) フォローアップ | 訪問1回1件あたり 33,000円
(WEB対応など訪問を伴わない場合は無料) |
| (4) シミュレーション | 1戸あたり 55,000円 |
| (5) モニタリング | 【毎月報告の場合】 年間 264,000円
【四半期報告の場合】 年間 220,000円 |

*金額はすべて税込み。

*個人申込とは、農協が対応できないなどの場合に、生産者個人が直接本協会に申込みこと。

3 提出書類

別紙様式第1号 令和6年度畜産経営指導支援申込書

*Word様式が本協会のホームページ（<http://rakutiku.or.jp/>）に掲載されていますので、ダウンロードしてお使いください。

4 提出期限 令和6年4月5日(金)まで

*年度末、人事異動等の時期でお忙しいことと存じます。期限内の提出が難しい場合は、出来る限り対応いたしますのでご相談ください。

5 提出先等

上記3に必要事項を記入の上、メールにて提出願います。

メールアドレス **shien@rakutiku.or.jp**

6 その他

*今回の需要調査をもって実施を確定するものではありません。要望の内容等によっては、実施できない場合がありますのでご承知おき下さい。

*今回の需要調査で要望が一定数を超えた場合は、実施戸数を調整させていただきます。逆に、要望が一定数に達しない場合は、年度途中で追加募集を行なうことがあります。

7 お問い合わせ

北海道酪農畜産協会 経営支援部 経営支援課 下井、入江

TEL 011-209-8556

FAX 011-209-8560

*ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせ下さい。

以上

別紙 需要調査に係る留意点等

1 酪農経営分析（簡易分析）について

- ① 分析内容は、JA全体（クミカン、乳検加入農家全戸）の平均値・集計値となるため、特定の農家だけの申し込みはできません。したがって、要件を満たす酪農家全戸での申し込みをお願いします。
- ② 分析結果（紙媒体とPDFファイル）は、本協会から農協に提供いたします。結果の説明についても必要に応じて農協に伺います。農家への説明や指導を行なうものではありませんのでご了承ください。

2 総合診断について

- ① 申込書の「経営規模」欄の頭数、面積等は、大まかな数値で構いません（100頭、60haなど）ので必ずご記入ください。
- ② 申込書の「申込理由」及び「経営課題」欄につきましても、簡潔で構いませんので出来る限りご記入ください。
- ③ 対象経営への聞き取り調査及び結果説明で、本協会職員が現地訪問（又は農協事務所等での面談）を行なう際は、原則として農協担当者の同席をお願いいたしますのでご承知おきください。

3 フォローアップ、シミュレーションについて

- ① 総合診断を実施した経営が対象となりますのでご注意ください。現段階で要望するか未定の場合、総合診断実施後にご相談ください。
- ② フォローアップに係る現地指導等において、1回の訪問行程で複数経営に対応する場合でも料金は、件数×33,000円となります。

4 その他

- ① 申込書の記入欄が不足する場合は、別葉で整理してください。
- ② 申込書に記載された内容について、本協会から電話等で照会させていただく場合があります。
- ③ 酪農経営分析と総合診断は実施内容が異なりますので、申込書に記入の際はご注意ください。
- ④ 今回の需要調査を本協会に取りまとめ・調整を行なった後、「令和6年度畜産経営指導支援事業実施決定通知書」をお送りします。これを以て実施決定となり、同意書の提出、データ提供、スケジュール調整等について本協会担当者からご連絡いたします。

別紙 畜産経営指導支援 各メニューの概要

メニュー名	目的	分析内容、項目	出力資料	必要データ	実施の流れ
簡易分析	<ul style="list-style-type: none"> 経営成果、傾向の大まかな把握 全道との比較 営農指導等への活用 	生産技術（乳量、繁殖成績、乳飼比など）、生乳 1kg 当りコスト、所得など	<ul style="list-style-type: none"> 個人分析シート 農協全体分析シート 	クマガ、乳検、乳量、乳成分	データ収集→システム処理→結果送付、 説明
総合診断	<ul style="list-style-type: none"> 経営状況の詳細な分析、総合的な診断 課題の抽出 改善に向けた対処方針、具体的対策の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 生産原価、収益性、安全性、生産技術 助言コメント（経営課題、改善策） 	経営診断助言書	上記の他、青申、決算書、資産状況、飼料明細、など	データ収集→ 聞き取り調査 →分析処理→ 結果説明、改善策提示
フォローアップ	<ul style="list-style-type: none"> 経営改善の推進 経営改善状況の確認 改善対策の見直し 	必要に応じて適宜対応			総合診断結果→ 検討会、勉強会、現地指導など
シミュレーション	経営改善、規模拡大、新規投資等に向けた計画の作成	<ul style="list-style-type: none"> 増頭、技術改善、飼養形態変更、新規投資、借入、償還など各シーンに応じたパラメータ分析 月次、年次計画 	経営改善計画書	設定条件による	総合診断結果→ 聞き取り調査 →追加資料収集→分析処理→ 結果説明
モニタリング	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な状況確認（毎月 or 四半期） 計画進捗状況の確認 経営悪化の兆候の事前把握、アラート発信 	家畜飼養動向、生産技術（出荷成績、繁殖成績など）、経営収支	モニタリング 報告書	クマガ、乳量、乳成分、牛導入販売データ	データ収集→システム処理→報告書送付→ 定期巡回指導

※本協会担当職員が現地に訪問して実施

別紙様式第1号

令和6年度畜産経営指導支援事業申込書

年 月 日

一般社団法人北海道酪農畜産協会
会長 小椋 茂敏 様

[農協等または個別畜産経営名]
[代表者名]

このたび、畜産経営指導支援事業実施要領を承諾し、同要領第2の事業に申し込みたいので、同要領第5の規定に基づき、下記のとおり申し込みます。

記

申込者（農協等担当者または個別畜産経営名）

所属・役職		氏名	
電話番号		メールアドレス	

1 酪農経営分析

1) 支援対象経営

クガシ CD (※1)	乳検 CD (※2)	該当する場合○					備考
		法人 (※3)	放牧 (※4)	TMRC (※5)	複合部門		
					耕種	畜産	

※1 必須項目

※2 牛群検定事業に参加の場合に記入（略さず7桁数字を入力、不参加は空欄）

※3 一戸法人等で個人経営として分析する場合は記入しない

※4 搾乳牛が採食している場合（育成・乾乳牛のみを放牧する場合は記入しない）

※5 分析対象年に TMR センターから定期的に飼料の供給を受けている場合

※6 欄が不足する場合は別葉にて整理

2) 分析結果提出希望時期 _____年_____月頃まで

3) 分析結果の見方の説明 希望する ・ 希望しない ※いずれかに○

2 総合診断

支援対象 経営名	経営 類型 (※1)	経営 規模 (※2)	住所	個体識別 農家 ID (※3)	申込理由 (※4)	経営課題 (※5)	現地調査 可能時期 (※6)	指導助言 希望時期 (※7)

- ※1 「酪農」「肉用牛繁殖」「肉用牛肥育」等と経営類型がわかるように記載
- ※2 頭数規模（経産牛頭数、繁殖雌牛頭数、肥育牛常時飼養頭数等）、粗飼料面積（牧草、デントコーン等）、労働人数（家族労働人数、雇用労働人数等）を記載
- ※3 （独）家畜改良センターに登録している農家コード（複数ある場合は全て記入）
- ※4 申込に至った理由を簡潔に記載（例：後継者に経営状況を把握してもらうため）
- ※5 農協等からみた支援対象経営の課題を記載（例：経営コストが高い）
（農協等が過去に実施した指導内容が記載された内部報告書等の写しの添付可）
- ※6 現地調査可能時期を記載（牧草収穫時期等繁忙期は避けます）
- ※7 協会が総合診断結果をもって指導助言を実施してほしい時期を記載

3 フォローアップ

支援対象 経営名	総合診断 実施年度 (※1)	協会の 支援方法 (※2)	実施予定 回数 (※3)	実施予定 時期 (※4)

- ※1 総合診断と同年度の実施を希望する場合は、実施予定年度を記載
- ※2 「現地指導参加」「検討会リモート参加」等、協会の出張の有無がわかるよう記載
- ※3 当年度に実施する予定回数を記載
- ※4 当年度に実施する予定時期を記載（複数回希望の場合は、それぞれの予定時期を記載）

4 シミュレーション

支援対象 経営名	総合診断 実施年度 (※1)	シミュレーションの目的 (※2)	実施希望 時期 (※3)

※1 総合診断と同年度の実施を希望する場合は、実施予定年度を記載

※2 「新規投資に係る資金計画の作成」など

※3 経営改善計画策定が必要な時期等を記載(資金借入のための期限がある場合など、優先的に取り組むよう調整します)

5 モニタリング

支援対象 経営名	決算期末月 (※1)	開始希望 年月	モニタリングに必要な データ提供方法(※2)		定期的な 現地確認 希望時期 (※3)
			導入・販売	収支	

※1 個人経営の場合は12月、法人経営の場合は決算期末月を記載

※2 データの提供元(JA等)、データの種類(エクセル、PDF、FAX等)を記載

※3 年2回の現地確認の概ねの時期を記載

6 研修会等支援

実施区分 (※1)	対 象 (※2)	内 容 (※3)	開催予定時期 (※4)

※1 検討会、研修会、勉強会等を記載

※2 農協職員、酪農経営者(〇〇部会)等、対象者を記載

※3 経営分析・診断結果に関する内容だが、生産技術面でも内容によっては対応できる可能性があるため、応相談

※4 概ねの開催予定時期を記載